

神奈川県水防災戦略の改定について

策定から6年目となる神奈川県水防災戦略について、現行の取組の成果や政策環境の変化を踏まえた対策の充実を図るため、来年度からの5か年を見据えた改定戦略の素案をとりまとめた。（別添「参考資料1」参照）

1 現行戦略における取組の検証

(1) 被害軽減の取組を加速させるハード対策

遊水地の整備等、治水効果が高い大規模河川事業や、河川的能力を最大限に活かす堆積土砂の撤去等を戦略に位置付け、集中的に取り組むことで、着実な推進が図られている。

(2) 災害対応力の充実強化に向けたソフト対策

市町村への財政支援や携帯トイレ等の備蓄強化などを通じて、避難所の生活環境整備等の着実な推進が図られている。

2 改定素案の概要

(1) 対象とする災害（現行戦略から継続）

台風や豪雨による洪水、土砂崩れ、高潮、暴風等に係る災害とする。

(2) 目標（現行戦略から継続）

住民による適切な避難行動を促進するとともに、水害や土砂災害による被害の最小化を目指し、次の目標を定める。

- ・「水害からの逃げ遅れゼロ」
- ・「県民のいのちを守り、財産・生活等への被害を軽減」

(3) 対象期間

令和8年度から5か年

(4) 対象とする対策（現行戦略から継続）

水害対策の基本的な考えである流域治水の考え方に沿って、必要な対策を講じる。

- ・被害軽減の取組を加速させるハード対策
- ・災害対応力の充実強化に向けたソフト対策

(5) 対策の主な内容

- ・孤立地域対策の追加
- ・要配慮者など災害に弱い立場の方に目を向けた対応の追加
- ・大地震との複合災害の視点を踏まえた対応の追加

3 今後の予定

令和7年12月 県民意見反映手続（パブリックコメント）、市町村への
意見照会を実施

令和8年3月 防災警察常任委員会へ改定案の報告
神奈川県水防災戦略を改定、公表